

3.11を忘れない集い開催

災害時の情報伝達学ぶ

豊橋さくらピアで市民ら約30人が参加

東日本大震災を振り返り防災を考える「3・11を忘れない集い」が11日、豊橋市東新町の市障害者福祉会館「さくらピア」で開かれ、利用者や市民約30人が参加した。



講演する島崎准教授（さくらピアで）

講師の近畿大学生
物理工学部の島崎敢
准教授が、「災害情
報を自分ごとに変換
する」をテーマに講
演した。

その中で「災害と
防災は違う。災害は
怖い、災害の被害
を減らす防災は怖く
ないことを理解し周
囲に伝えて」と呼び

かけた。
そのうえで「リス
クコミュニケーション
には、『怖い』と
いう感情が付きま
うため普通より難
しい。相手の懸念や
価値観に耳を傾け、
誠実に説明しよう」
などと話し、「共に
考え、共に決める
関係づくりが大切」と
強調した。

また、心理学的な
考え方をもち、災
害にあった時にど
のように情報を発
信したり、受け取
ったりしたらいかな
ども

詳しく解説した。参
加者はメモを取るな
どして熱心に聞いて
いた。

（大林恭子）

2025年3月12日(水)

東日新聞